

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【小野小学校：出席者数：15人】

日時：6月27日（日）15：00～16：45

| | 出席者の発言等（概要） | 市の回答等（概要） |
|---|--|--|
| A | <p>最後に言われていた、2040年とか50年とかになっていますが、市街化調整区域が市街化区域になるのは全く考慮されていない表なのか、少し気になったのはその点です。</p> | <p>市街化調整区域を市街化区域にするということは前提としていない人口推計になっております。</p> |
| B | <p>保育園と認定こども園の違いを教えてください。</p> | <p>認可保育所というのは0歳から5歳までの保育が必要なお子さん、保護者の方の就労等で7時から18時までの間、標準としてお預かりをするのが認可保育所でございます。認定こども園は、類型がいくつかありますけれども幼稚園の機能と保育所の機能を併せ持った施設になります。幼稚園部分として、市立幼稚園と同じように午後2時までお預かりをするお子さんと保育によって18時までお預かりをするお子さん等が混在するような形で運営するものになります。</p> |
| C | <p>市のこういう提案は全て財政、お金が絡んでいるような気がします。市民病院の統合の問題にしても、基本的なところでお金。お金儲けのためではなく、市民の福祉のために市役所があると思います。市民の役に立つところが市役所と思いますが、この再編案を見ると、志手原も母子も高平も子どもの通園に凄い負担になると思います。子どもの負担があることに考えが及んでないのではないかと思います。</p> <p>一番に集団規模の確保と書いてあって、確かに集団は大事だと思いますけれども、1学級の人数が15人から30人となっていますが、これは保育園の運営の中で考えられるのではないのですか。4園合併統合することになっていますが、この4園でみんな集まって運動会するなど、集団の良いところはそれでカバーできるのではないのですか。</p> <p>まずはお金が大事、稼ぐ市役所ということがあるように聞こえますが、何かそこが間違えてないかなと思います。</p> | <p>この再編計画は財政的な観点から出てきた計画ではございません。先ほど集団は大事だとおっしゃっていただきましたけど、子どもさんが社会に出る第一歩としての幼稚園において、社会性を身につけるためには一定のそういった多様な個性に出会う機会が必要ではないか。そういう機会を多く確保したい、準備したいという観点から今回の再編計画は考え出されたものです。</p> <p>財政的な話でいきますと、幼稚園の予算は令和3年度で約3億円。もちろんこの再編によりまして、7園が2園になりますので、その部分の光熱水費などのランニングコストは当然減っていくわけですが、通園バスなど、新たに必要となる費用もあり、財政的なことを考えてやっているわけではないということです。</p> <p>集団が大事だということとを第一に、お子様が体験といいますか、学び合う機会を持っていただくという観点から考えているものです。</p> <p>この再編計画の「案」がとれて実行されるとなると、7園が2園の認定こども園になりますので、ランニングコストとしては、5園分の電気代や水道代などは減っていきます。</p> <p>一方で、幼稚園の先生が減るわけではありあせん。今は午前8時半から午後2時までの保育をさせていただいていますが、それが午前7時から午後7時までとなります。夏休みも冬休みも基本的に開いているというような形でサービスを拡充いたしますし、通園バスも運行もさせていただきます。</p> <p>経費を削減するためではなく、むしろその3億円の枠内で何とか収めながらこ</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | | <p>ういったサービスが拡充できないかという観点で、今回の再編計画案は作られています。</p> <p>コストカットのことだけを考えれば、認定こども園にしないことも考えられるかもしれませんが、私どもは子どもさんたちの学びの機会を何とか確保したいということを考えて、集約と保育時間の拡充によりまして、より多くの子どもさんにこの認定こども園に通っていただきたい。そして集団規模を確保することによる学び合いの機会を増やしたいという観点から考えているところです。財政的なことを考えて、この再編計画案ができたのではないということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>もう一つは、持続可能性というのがあります。これが例えば1年だけ4億かけてやってもいいというような話もあるかもしれませんが、それでは持続可能性がなくなってしまいますので、この3億円の枠の中で可能な限りサービスを拡充したいという発想で今回の再編計画案は作られています。</p> |
| D | <p>予算の関係ではないということの説明をお聞きしましたが、お金をいかに削減するかというのが、一番あるのではないかと私は思っています。</p> <p>単年度で幼稚園予算が3億円で、統合しても変わらない、子どもの学びを保障したいということはそのとおりですけれども、この幼児期に長距離通園になるとか、子どもの健康面などが抜けているのではないですか。もし予算が変わらないのであれば、これを維持していてもいいのではないかと思います。</p> <p>人口が減ってきたので、それを先取りして、こういうことやっているのではないかという感想を抱きますが、5歳児の子どもを母子から志手原まで毎日通園させるということは、子どもの健康上の問題についてはどうですか。</p> | <p>そういった懸念があることは十分承知をしておりますし、予算も約3億円で運営している状態で幼稚園を残したらどうかというご意見もあったかと思えます。しかし、一定の集団の中での育ちということを前提にしたときに、市立幼稚園のまま10園を残すことになりますと、なかなか集団というものはできにくいというところです。市立幼稚園の人数は減ってきている状況ですけれども、そもそも市立幼稚園は、その人数が少ないことを前提にして、これまで運営してきたわけではありません。</p> <p>幼稚園10園をそのままというのは、まずはその集団のお話の中から、やはりある程度考えていかないといけないというのが1点です。</p> <p>通園の負担については、おっしゃることは理解できますけれども、園区を集約再編して広くするわけですので、通園する手段の保障というのは、一定程度必要になってくると思いますので、通園バスという手法を使わせていただきたいと思っています。</p> <p>通園の時間ですけれども、母子から志手原の方に長い時間になるのではないかというお話だと思いますが、ゆっくりと走らせたとして、最長で30分から40分以内ということですので。私立認定こども園でも、お子様達を通園で通わせるにあたっては、同程度の所要時間で運用されているという実態もありますので、そういうところも参考にさせていただいているという状況です。</p> |
| | <p>認定こども園の預かり保育に勤めている知り合いがいますが、子</p> | <p>今の園区の中の子どもさんの人数を踏まえた中では、認可保育所をたくさんつ</p> |

| | | |
|---|---|---|
| | <p>どもさんが多く、過密状態で、おむつをしないといけない子どもさんから小学校入学前の子どもさんまで皆一緒に見るので、すごく大変な感じでした。そういう保育を子どもたちに過ごさせるのではなく、ちゃんとした認可保育園があるのが本当はいいと思いますが、ここ最近、幼保一元化というか、安易な保育が三田市はそれがすごく多いと思います。</p> <p>高平、母子、小野、志手原地域で認可や小規模に行っている人たちも合わせると、1号・2号・3号の子どもが38名いるような地域なので、今の幼稚園よりも保育所の方が、ニーズがあるのかなという気がします。そういった保育園を残す、新たに作るという工夫を望まれているのではないかと思います。</p> <p>費用のことは大変だと思いますが、これは将来に対する投資ですし、子どもを大切にすまちということで、このまま放っていたら三田市が5万何人の人口になっていくのを許していくというか、それを見守っているだけと感じます。そうならないために、今やらないといけない。本当にほしいと皆さんが望んでいるなら認可保育園を各地域につくったら、もっとこの地域で子育てできる状況になって、人数が増えるし、公立幼稚園も2人や7人ではなく、増えると思います。よそから来られたり、農家の方が戻ってきて子育てしたりする可能性もあるわけですから、その可能性がなくなっていく方向にはいけないと思います。</p> | <p>くっていけば、子育て世帯を呼び込んだり、人口が増えるような方策になるのではないかというご意見であったかと思います。</p> <p>今回の幼稚園再編計画案というのは、認定こども園にしたとしても過密な状況になる人数ではありません。今私たちが持っている資源を考えながら、できるところで考えています。これから先、いろいろと考えていかないといけないことが発生することはあり得るとは思いますが、今の状況を見る中では、このことにまず取り組みたいと考えております。</p> |
| E | <p>これは私個人、保護者としての考えですが、基本的に合併して集団で人数を増やすという点においては、条件付きではありますが賛成の立場です。</p> <p>昨年度まで幼稚園児がいましたが、幼稚園の先生方に聞いたところでも、人数が少なすぎるとやはり教育的にもやりにくい、交流を持とうとしても今の時期なので交流ができない。実際子どもたちは、幼稚園から小学校に上がって視点が増えて、目に見えてコミュニケーション能力が上がっているような雰囲気を持ちます。ということは幼稚園の時期から人数が多い方が、利点としてあると思いますので、その点においては賛成しています。</p> <p>いくつか確認しておきたいことがあります。まず、通園の手段として、スクールバスをお考えですが、バスの台数は考えてあります</p> | <p>現時点では新設認定こども園が2園で、それぞれ2台ずつを考えているところです。</p> |

| | | |
|---|---|---|
| | か。 | |
| | 2台という、例えば高平から志手原に向かうルートと母子から志手原に向かうルートという認識で間違いないですか。 | そうです。まだ、実際に通われるお子さんの住所が確定しているわけではございませんが、そういう想定をしています。 |
| | <p>スクールバスという点であれば、私としては問題ないと思っています。時間的にもそれほどかからない、私は乙原の北の方なので、そこから幼稚園に行くときは、車で20分ぐらいかけて走っているの、親の負担としては逆に軽くなると思います。</p> <p>もう一つは、なぜ志手原幼稚園なのか。地図が出ていますが、市街地に偏って幼稚園などができているというお話があったと思います。志手原であるとより一層、農村部から離れるのではないかと思います。広野もそうですが、立地で考えたら本庄であるとか。つつじが丘から通うのはなかなか大変だと思います。母子から志手原に通うのも大変だと思います。なぜ、志手原や広野なのか少し疑問ではあります。</p> | <p>ありがとうございます。今おっしゃられたように地図上の配置で考えたときに、位置として西なり東側でおよその中心になるところというような考え方もお持ちいただいたと思います。</p> <p>今回認定こども園にするというところで、幼稚園のお子さんと保育が必要なお子さんもあわせて考えさせていただいたときに、一般的な話になるかもしれませんが、保護者の方々がより就業先といいますか、お仕事に向かわれるというところで考えたときに、志手原や広野を提案させていただいているというのが一つです。</p> <p>つつじが丘のお話が出ましたが、つつじが丘は藍幼稚園にいらっしゃる方もあるんですけども、つつじが丘の子どもさんたちは藍幼稚園の園区ではありません。母子地域では、志手原ではなく、広野にということは考えられないのかというご意見もいただきました。基本的には集約した園区というところにはなりますが、そのあたりは検討させていただく内容かということでお答えをさせていただいています。</p> <p>繰り返しになりますが、園の位置の考え方は就業されるであろう場所に近いくところという考え方を基本にさせていただいています。</p> |
| F | <p>意見交換会における意見一覧というところがありますが、中学校再編での意見と、ここでの意見は共通していると思います。</p> <p>結局その説明でいうと、これからのまちづくりをどうしていくのかと、人口が減ることをどうしていくか。ニュータウンと農村部での二つ違った魅力として三田はアピールしているはずですが、これが共存できないような感じで、その二つの魅力ではいけないような将来不安があると思ってお話を聞かせていただきました。</p> <p>今日ご説明されているのは幼稚園を担当される方が来られていて、中学校の方は中学校の説明をされる部署の方が来られている。最終的にはこの意見が出ているところというのは、全体のことはどうなっているかということを知りたいと思います。たどり着くのはいつかなと思っています。</p> <p>市は一体総合的にどう考えているのか。このまま人口が減ってい</p> | <p>人口減少につきましては、市長も人口減少にも負けないまちづくりを掲げています。時期的には、人口政策的なもととして総合戦略という名前の計画がありますが、それが令和4年度から新しいものができます。資料の人口推計以上に減らないように、あるいは減ったとしても、いつまでも活力のある三田市にしていきたい、こういう二つの方向です。人口減少があまり起こらない、仮に減ったとしても、活力のある三田市のために何ができるのかということについて今検討中です。この幼稚園再編計画案に関して、前回の意見交換会でも地域の活性化について、いろいろとご意見を頂戴していますので、市長も市全体を挙げて、地域の活性化に取り組むということで各所管にも号令をかけています。私たちもこの意見交換会に入る前には各所管の部署を集めまして、地域の活性化についての取り組みをすることになると思うのでよろしく願いますということ、庁内でもお話をさせていただきました。</p> <p>全体的な総合戦略のいわば市全体の計画と、それぞれの地域の特性がございま</p> |

| | |
|--|--|
| <p>くという前提で、改善をしていく何か、もっと魅力的にしていく何か、その明るい方向へ向かっていく何かというのをお考えなのかということが少し気になります。少なくなってくる現実もありますが、そこが知りたいです。いつ頃に具体的にわかるのか。何年後ぐらいを考えていますというのが、だんだん伸びてきていたり、先に中学校のことがあって、幼稚園のことが後から出てきたと思います。だから、段々長くなってきていると思います。このことに関して、どう集約をしていくのか、どういう答えを市が出していくのかというのがすごく気になっています。</p> | <p>すので、地域ごとの活性化というのはそれぞれ違う部分もあるかもしれません。全体の方向性と個別の地域の方向性もあると思いますので、そういったことについては、それぞれの地域のご事情であるとか、あるいはどんな地域にしたいのかということについても、市と一緒に話をさせていただいて具体的に動かしていきたいと考えているところです。</p> <p>私たちは幼稚園の担当ですが、そういったお話については、できるだけ再編計画の実行に当たっては各所管とも共有しながら地域の皆さんとお話していきたいと思っています。</p> <p>具体的に、そのあたりをどう担保するのというところだと思いますが、計画への掲載を検討するものとして地域の活性化をあげています。再編計画を実行するにあたってどんなことに注意するかということも再編計画案の最後の方に書いていますが、地域の活性化や安全確保といったことについて、昨年、地域の皆さんからのご意見がたくさんあり、そのあたりの懸念に対して再編計画案の中で十分にお応えできていない部分もございますので、地域の活性化については、市と地域の皆さんと一緒に取り組むことについて、お約束をさせていただく形で計画案を作っていきたいと考えているところです。</p> |
| <p>しばらく待ったら、地域の皆さんがわかるような何かそういうものをお示しいただけるということで大丈夫でしょうか。地域のことであったり、小学校、幼稚園、中学校というのは、いろんな背景があり、ここにあって、その中で子どもが育って地域を形成していくものだから、一問一答みたいにされてしまうと、真意が分からないとか、どう動いてくれて、どういうところを作ろうとしているのか、どこを目指しているのかというのがわかりづらいので、もう少し地域の方が納得するような何かがあると嬉しいと思います。</p> | <p>おっしゃるとおりです。私ども今日は幼稚園の再編の関係で来させていただいていますし、また中学校のことでもお話をさせていただいています。それぞれその分野ごとに今お話をさせていただいていることに事実上なっていますが、地域にお住まいになっている方々の生活というのは、幼稚園だけでもないし、中学校だけでもないし、小学校だけでもないし、農業のことだけでもない、いろんなことがあっての生活をされているということは私たちもわかっています。</p> <p>具体的にどういうことがいいのかというのは、ある地域によっては地域計画のようなものを作っておられるようなところもあります。この地域でそういったことが望ましいのか、もっと別の方向があるのかというのはいろんな議論がありうると思います。そのあたりは、庁内でも検討しながらご提案をさせていただくことになろうかと思っています。</p> <p>いずれにいたしましても、地域の皆さんがどんな地域にしていきたいのか、そして、それについて行政としてこのようなことができますということなどをご提案させていただきながら前へ進めていくという形になろうかと思っています。</p> <p>実際にいつから始まるのかということについて、私の立場ではいつからと言うことはできませんが、そういったご意見があったことについては、早いうちに庁内でも共有させていただきますので、そちらについてはまたご連絡させていただ</p> |

| | | |
|---|--|--|
| | | くことになると思います。 |
| A | <p>人口減少の表についての説明がありましたが、資料集の意見でも市街化調整区域を設定されているからであると書いています。本日の説明では、人口減少の資料は市街化調整区域のままが前提であり、解除を前提としていないという話でしたので、2065年までの44年間は市街化調整区域のままということが市の方針というふうに受け取りました。家が建たなければ、農村地域ではなかなか若い人は入ってきません。</p> <p>私は仕事の関係で東京にいますけれども、コロナの関係で神奈川県や千葉県はすごい勢いで住宅が求められています。東京都23区内に会社があっても、少し遠くても一戸建てが欲しいというような中で、すごい勢いで郊外に家を求める若い人が増えてまいす。こちらの方ではどうなのかわかりませんが、市街化調整区域のままでは何ともならないですが、市は、後44年は変えない前提と言い切りましたので、それもどうするのか。自分たちが人口を増やしたいと言っているのに、天に唾を吐いているようにも取れますので、少し釘を刺しておきたいと思います。</p> | <p>ありがとうございます。市街化調整区域が設定されていることで、建築が規制されていることで新たな方々が入ってこれるところを塞いでしまっているのではないかというご意見だと思います。</p> <p>ご意見の趣旨は十分に受けとめさせていただきたいと思いますが、市街化調整区域を設定してきた経過というところもございますので、その辺は今後議論が必要かと思えます。今回は人口減少のところでその辺りのところをご説明させていただいたのは、市街化調整区域以外でも人口減少の局面が出てきているということをご確認いただくという趣旨でしたが、新たな人たちを呼ぶためには市街化調整区域設定を外して建築をしやすいようにするというご意見があるということも、しっかりと受けとめさせていただきたいと思えます。</p> |